

年間授業計画【新様式】

高等学校令和8年度（1学年用）

教科

国語

科目 現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

3 単位

対象学年組：第 1 学年

教科担当者：大久保 美由紀 須知 結太郎

使用教科書：「現代の国語」改訂版（大修館書店）

教科 国語

の目標：

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語

の目標：

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
主体的・対話的で深い学びをとおして、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的に考える力・他者に共感する力・想像する力を伸ばし、言葉で伝え合う力を高めることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをげたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話 ・ 聞	書	読					
□人と言葉、社会と言葉との関係について書かれた文章を読み、言葉の学びに向かう姿勢をつくる。	1 言葉を学ぶ 「言葉のなかに生まれる」 「言葉で生きていく」 ・文の成分 ・指示語 ・接続語 ・具体と抽象 ・主張とその理由 ・類比・対比・因果	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認識や思考を支える働きなど、さまざまな言葉の働きや役割を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人と言葉、社会と言葉との関係についてあらためて考え、言葉の学びに向かおうとしている。 <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人と言葉、社会と言葉との関係や、言葉を学ぶことの意義について、積極的に意見を交流しようとしている。 	○	○	○	10
□叙述を的確にとらえる。 □具体と抽象を理解し、文章の要旨を的確にまとめる。	2 主張をとらえる 「水の東西」 「『動』への変化」 ・文の成分 ・指示語 ・接続語 ・具体と抽象 ・主張とその理由 ・類比・対比・因果		○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。 <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで、文章の叙述をもとに要点を把握し、学習課題に沿って、内容や形式について論述しようとしている。 	○	○	○	10
中間考査						○	○		1

1 学期	<p>□話し言葉の特徴を理解する。 □聞き手が理解しやすい説明のしかたを考え、過不足なく伝える。 □書き言葉の特徴を理解する。 □相手に正確に伝わるようにわかりやすく書く。 □他者と意見を交流し、アイデアを出し合う。 □アイデアを整理し、さらに発想を広げる。 □構成や展開を意識して文章を書く。 □根拠を明確にして、自分の意見を書く。</p>	<p>3 的確に伝える 「伝わるように話す」 「わかりやすく書く」</p> <p>4 意見を示す 「発想を広げる」 「意見を書く」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文の成分 ・指示語 ・接続語 ・具体と抽象 ・主張とその理由 				<p>【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や相手に配慮した表現について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「話すこと」において、話し言葉の特徴をふまえ、相手が理解しやすいように表現を工夫して話している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・口頭での説明をとおして、話し言葉の特徴をふまえ、相手が理解しやすい表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。</p> <p>【知識・技能】 ・書くべき材料のそれぞれの関係や全体の構造について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じた適切な材料や表現形式を選んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を書くことをとおして、材料同士の関係や全体の構造に注意しながら、目的や意図に応じて適切な材料と形式を粘り強く選び、表現する中で、自らの学習を調整しようとしている。</p> <p>【知識・技能】 ・出されたアイデアのそれぞれの関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、さまざまな観点から情報を整理し、内容を検討している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・アイデアを出したり整理したりすることをとおして、アイデア同士の関係をふまえ、さまざまな観点から粘り強く検討して発想をさらに広げる中で、自らの学習を調整しようとしている。</p> <p>【知識及び技能】 ・文例および自分の作文において主張と根拠とを指摘している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「書くこと」において、論理展開を工夫し、読み手が理解しやすい文章を書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意見文の相互評価および単元の総括をとおして、学習の状況を積極的に把握しようとしている。</p>				10
	<p>□主張と根拠、理由づけの関係をとらえる。 □演繹・帰納に着目して、文章の論理をとらえる。</p>	<p>5 論理をとらえる 「動的平衡としての生物多様性」 「自然と人間の関係をとおして考える」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文の成分 ・指示語 ・接続語 ・具体と抽象 ・主張とその理由 ・類比・対比・因果 				<p>【知識・技能】 ・主張と論拠などの情報と情報の関係や、推論のしかたについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、本文における情報の関係に注意しながら、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論理的な文章を読むことを通して、情報の関係や推論のしかたに注意しながら内容や展開を把握することに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。</p> <p>【知識・技能】 ・主張と論拠などの情報と情報の関係や、推論のしかたについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・本文における情報の関係に注意しながら、内容や論理展開についての的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論理的な文章を読むことをとおして、情報の関係や推論のしかたに注意しながら内容や展開を把握することに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。</p>				12
期末考査										1

	<p>□相手の興味を引くように、構成や展開を工夫して話す。 □声の強弱や話す速度、間のとり方などを意識して話したり聞いたりする。 □さまざまな表現の工夫を知り、自らの表現に活かす。 □読み手の興味を引くように、表現を工夫して書く。</p>	<p>6 効果的に伝える 「工夫して話す」 「興味を引く紹介文を書く」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文の成分 ・指示語 ・接続語 ・具体と抽象 ・主張とその理由 ・類比・対比・因果 	<p>○ ○ ○</p>	<p>【知識・技能】 ・スピーチの効果的な組み立て方について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえて話したり、場の状況に応じて非言語的表現を用いたりするなど、相手の理解や興味を得られるように表現を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、話の内容や構成、論理の展開、表現のしかたを評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スピーチ発表をとおして、構成の重要性について理解し、相手の理解や興味を得られるように内容や表現を工夫したり、相手の発表を評価したりする中で、効果的に伝えるために何が必要かを進んで考えようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>10</p>
	<p>□資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。 □資料から情報を正確に読み取る。 □資料と文章の関係に注意し、文章の意図を読み取る。</p>	<p>7 資料を解釈する 「安くておいしい国」の限界 「人新世」における労働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文の成分 ・指示語 ・接続語 ・具体と抽象 ・主張とその理由 ・類比・対比・因果 	<p>○ ○ ○</p>	<p>【知識・技能】 ・文章と筆者が引用しているデータ・図表の情報がどのような対応関係にあるかを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・図表を伴う文章を読むことをとおして、それぞれの情報を相互に関連づけて内容を粘り強く解釈し、自分の意見を深める中で、自らの学習を調整しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>10</p>
<p>2 学</p>	<p>中間考査</p>				<p>○ ○</p>	<p>1</p>

期	<p>□質問の種類を押さえる。 □相手の話を引き出す質問をする。 □通信文の基本的なルールを知る。 □相手や場面に応じた通信文を書く。</p>	<p>8 他者と交流する 「理解を深める質問をする」 「気持ちを伝える通信文を書く」 ・文の成分 ・指示語 ・接続語 ・具体と抽象 ・主張とその理由 ・類比・対比・因果</p>	○ ○ ○	<p>【知識・技能】 ・相手の回答を必要に応じて一般化したり、具体的な内容に掘り下げたりしている。 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、論理展開を予想しながら質問し、聞き取った相手の回答を整理している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・相手に対する質問をとおして、情報の一般化や具体化を理解し、論理展開を予想しながら相手の話を整理する中で、自分自身の質問のしかたについて積極的に振り返ろうとしている。</p>	○ ○ ○	12
	<p>□複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。 □提案を検討する際に必要な要素を押さえる。 □効果的な表現や資料の提示のしかたを工夫する。 □聞き手の心を動かす話し方を工夫する。 □資料にもとづいて、効果的に発表する。</p>	<p>9 文章を比較する 「美しさの発見」について 「本当の会話がSNSでできるか」 ・文の成分 ・指示語 ・接続語 ・具体と抽象 ・主張とその理由 ・類比・対比・因果</p> <p>10 他者を動かす 「説得力のある資料をつくる」 「資料を用いて発表する」 ・文の成分 ・指示語 ・接続語 ・具体と抽象 ・主張とその理由 ・類比・対比・因果</p>	○ ○ ○	<p>【知識・技能】 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。</p> <p>【知識・技能】 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。</p> <p>【知識・技能】 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法および表記のしかたなどを理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の考えやことがらが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。</p>	○ ○ ○	14
期末考査					○ ○	1
	<p>□文章中の根拠や引用に注目し、その妥当性や信頼性を吟味する。</p>	<p>11 情報を吟味する 「贅沢を取り戻す」 「言葉についての新しい認識」 ・文の成分 ・指示語 ・接続語 ・具体と抽象 ・主張とその理由 ・類比・対比・因果</p>	○ ○ ○	<p>【知識・技能】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。</p> <p>【知識・技能】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。</p>	○ ○ ○	12

